

東濃高等学校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は明治 29(1896)年に岐阜県尋常中学校東濃分校として開校した県下で4番目の伝統校で、今年度創立 130 年目を迎えます。校内には明治・大正・昭和・平成の各時代につくられた自転車置場があり、本校の歴史を現在に伝えています。立地する赤陵の森は自然に恵まれ、中山道御嶽宿にも近く、往時の風情を遺すところでもあります。

全日制普通科高校ですが、平成 16(2004)年度から単位制に改編、22(2010)年度からは生徒の興味・関心、将来の進路希望に応じた授業選択ができるよう教育課程に類型を導入し、多くの選択科目を開講しています。令和 4(2022)年度入学生からは、8 類型（人文社会・国際・日本文化・生活・理数探究・地域探究・ビジネス・ものづくり）に充実させ、家庭科や商業、工業の専門科目も選択可能になっています。

令和 7 年 3 月策定した本校のスクール・ミッションは、「多様な価値観や個性、文化を持つ生徒が共に育ち学ぶ学校として、主体的な学びと地域に根差した教育活動を通して、次代を担い、ふるさとに貢献できる人材の育成を目指す学校。」です。これまでの長い歴史と伝統を大切に継承しつつも、時代の変化や地域社会のニーズに応え、新たな歴史を刻む本校の方向性を表しています。

今後、本校の新しい歴史を刻む主役は生徒たちです。国際化の進展の中で、本校における「外国につながる生徒」は年々増加してきました。今年度は全校生徒の約 62%を占めており、実に多様な文化や歴史的背景、価値観を持った生徒が通っています。日本語の習得に苦勞する生徒や学習、人間関係、将来の目標など、さまざまな悩みや課題をもっている生徒もいますが、生徒たちが学校生活の中で、相手を尊重し、思いやり、そして、お互いの考えをしっかりと伝え合うことができる、そんな素敵な人間関係を築いていくこと、また何事にも主体的に挑戦し、昨日の自分を超えていこうという強い意欲と意志をもって、切磋琢磨し、それぞれの夢の実現に向かって充実した高校生活を送っていくことを心から願っています。

本校としましては引き続き、地域や社会から求められている役割や期待に応え、「なくてはならぬ学校」を目指していきます。そして、教職員が深い愛情をもって一丸となり、生徒が心から「東濃高校に入学してよかった」、「成長できた」と言える学校を創っていきます。どうか保護者や地域の皆さま、関係諸機関におかれましても、本校の教育活動への変わらぬご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



令和 7(2025)年 4 月

校長 二村 文敏